

Bouquet



No.79 2016.10



特集1 多様な働き方を考える

インタビュー 青野慶久さん (サイボウズ株式会社代表取締役社長)

座談会・インタビュー 私たちの働き方

特集2

第15回中央区ブーケ祭りを 開催しました！



多様な働き方を考える

インタビュー

青野慶久さん

(サイボウズ株式会社代表取締役社長)



青野慶久(あおのよしひさ)さん

1971年愛媛県生まれ。大阪大学工学部情報システム工学科を卒業後、松下電工(現:パナソニック株)を経て、1997年サイボウズ株を愛媛県松山市に設立。2005年代表取締役社長に就任。3児の父として3度の育児休暇を取得。総務省ワークスタイル変革プロジェクトの外部アドバイザーを務める。著書に『チームのことだけ、考えた。』(ダイヤモンド社 2015年)などがある。

女性の活躍を推進し、男女がともに暮らしやすい社会を実現するためには、長時間労働や画一的な働き方を改革し、一人一人の事情に合った職業生活を営むことが重要です。

特集では、ライフスタイルに合わせて働く時間や場所を選択できるなど、さまざまな制度を社内を導入してきた、サイボウズ株式会社代表取締役社長の青野慶久さんに、働き方改革に取り組んだ経緯や制度の考え方などについてお伺いしました。

1000人1000通りの働き方

私が2005年に社長になったとき、会社の離職率は28%、4人以上が辞めていく状況でした。そこで、「1000人いれば100通りの人事制度があつていい」という方針を掲げ、一人一人のニーズを聞きながら働き方の制度を整えていきました。「働き方の選択」という形で進化していき、離職率が4%を切るまでになりました。

人が辞めると、新しい人を採用するための広告や面接、さらには、採用後の教育などにコストがかかります。もったいない話です。よく勘違いされて、「サイボウズは社員に優しい会社ですね」と言われますが、経営者として経営効率を上げ、いい仕事をしていくために合理性を考えています。

働く「時間」も「場所」も選べる

その人のライフスタイルに合わせて働き方が選択できればいいと考え、まず働く時間の管理から始めました。育児や介護などをしながら働くときは、性別や能力とは関係なく、残業しないで希望する時間帯で働ける制度を作りました。残業なし、もしくは時短の「ライフ重視型」と残業ありの「ワーク重視型」です。その後、ある程度残業してもいい人をイメージして「ワークライフバランス型」の3コースになりました。

次は働く場所の管理です。育児から復帰した社員から「会社で終わらない仕事を子どもを寝かしつけた後に家でしている。在宅の仕事を認めてほしい」という意見が出ました。また、ヒアリングから

育児や介護に限らず、他の社員にとっても働く場所の選択が増えることで生産性や業務効率が上がる可能性があると分かり、全社員を対象に月4回まで在宅勤務ができる制度を始めました。成果の判断、情報漏洩のリスク、モラルの低下などの懸念もありましたが、実際やってみると、問題はほとんど起こらず、むしろ、願いが叶った感謝から最大の成果を上げようとする努力も見られました。

また、東日本大震災の直後に起きた混乱の際には、在宅勤務による災害時の事業継続という予想していなかった効果がありました。

制度は日々変化し続ける

一人一人が、自分はこの働き方なんだということを宣言して、それが実現できるようにしていく。基本はそれだけです。

今では、働く場所、時間、回数
の制限をなくした働き方「ウルトラワーク」に発展しています。

もちろん、日々いろいろな問題が起こります。どう対処するかを考え、試行錯誤しながら、一つずつ乗り越えてきました。「これでまたちょっと働き方の自由度が上がった

ね」ということの繰り返しです。これからも新しいものを受け入れ、柔軟に変化させていきます。

子育ては未来の市場をつくる

私は、会社では働く女性を支援すると言いつつも、2010年に第1子が生まれた時点ではあまり育児はしたくないと思っていました。しかし、制度の利用を進めるには、リーダーの先例が有効なのは事実です。知人の育児取得にも後押しされて、楽しい計画を立て、8月に2週間の育児を取得しました。

ところが、待っていたのは子どもにご飯を食べさせるのに30分もかかるという全く非効率な世界でした。ずっと効率よく働くことを目指し、実践してきたので「何をやっているんだろう」という思いが募りました。

しかし、その2週間が終わるころに「僕がご飯を食べさせているこの子は20年後には大人になる。大人になったら働き、物も買う。自社のユーザーになる可能性がある」と気付きました。子育てと経済は全く別に見ていましたが、未来の経済、市場がここにあると思った瞬間に全てがつながりました。

日本は今、未来の市場をつくることをサボっていて、どんどん縮小しています。子どもを育てることと商売と、どちらが大事と聞かれたいけないと断言します。その後、第2子、第3子が生まれ、自分の中のワーク・ライフ・バランスもだいぶ変わってきました。現在は、平日1日4時間くらいは家事をしています。

子育てや介護は社会と触れる場

会社は社会の問題を解決することでお金を得ています。社会を知らないと言えないのですが、会社の中ですべてはあまり社会のことは分かりません。子育てや介護などをすると、医療や教育の場に行きます。また、スーパーに行く、近所の人と話すことでいろいろな社会に触れます。すると、こういうところでも役に立っているのではないかと新しいアイデアも出てきて、社会をリサーチすることができそうです。

このところ、男性のプログラマーが3人続いて育児休暇を取得しました。社内に風土がだんだんできてきました。

まずはスモールスタートで

今の政治や企業のリーダーは、家庭を顧みずに働いて出世した人たちですから、イクメンを理解するのは難しいでしょう。せめて、次の世代に引きずらないでほしいです。ここに来て、ボス(上司など)を育成していくイクボス企業同盟の流れができています。若者が働きやすい環境でなければ、採用も厳しくなっていくと気がつき始めている経営者も増えてきています。

多くの企業が、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいます。なかなか進まないのも現実です。「サイボウズだからできるんだしょ」というのは言い訳です。成長するにはトライ&エラーが欠かせません。おすすめはスモールスタートです。できそうな部署から始めたり、2週間だけ在宅勤務を導入してみるのもいいと思います。実行すると、学びが得られますから、それを改善して、ほかの部署に広げたり、時間を長くしてみるのはどうでしょう。

多くの人が働き方を変えることで新しい未来がつけられるのではないかと考えています。

座談会・インタビュー

私たちの働き方

中央区では、仕事と子育て・介護との両立支援や長時間労働削減など働きやすい職場の実現に向け取り組んでいる事業所を中央区ワーク・ライフ・バランス推進企業として認定しています。
今回、中央区ワーク・ライフ・バランス推進企業のうち6社の従業員の方に、ご自身の働き方などについてお話いただきました。

座談会

短時間勤務

どんなお仕事をされていますか



エヌアイシー・ソフト株式会社
情報通信業
今井亜樹さん

セントワークス株式会社
複合サービス事業
堀部美奈さん

日本証券金融株式会社
金融業・保険業
関根京香さん

明和証券株式会社
金融業・保険業
奥田真弓さん

今井：ソフトウェア開発会社です。育成や採用などを担当しています。
関根：制度信用取引を下支えする貸借取引を主業務とする会社です。私は、人事を担当しています。
奥田：証券業で、個人のお客様に金融商品の提案やコンサルタントなどの営業を行っています。
堀部：介護現場をサポートする会社です。私は、介護保険の請求ソフトを開発しています。

短時間勤務を選択した理由や勤務時間を教えてください

今井：勤務時間が4、5、6時間から選択でき、最初は4時間で、後に5時間に変更するなど変則的に対応してもらっています。
堀部：保育園のお迎えのため、終業を1時間早く17時までにしてます。朝の送りは夫がやっています。
関根：第2子出産後の職場復帰時に短時間勤務制度が整いました。短時間勤務を選択することで、これまで閉園時間に間に合わず、入園できなかった認可保育園に転園することができました。
奥田：ママ友が取得しており、調べたら会社に制度があったので申請しました。市場が開く9時より前の朝の会議が重要なので、終業を1時間半短くしています。

家族や同僚などの反応はいかがでしたか

今井：短時間勤務をすることをあらかじめ伝えていたので、問題はなかったと思います。
堀部：契約社員として入社して3カ月目で妊娠が分かりました。会社には言いづらかったのですが、上司から短時間勤務や保育園のことなどいろいろ教えてもらいました。
関根：産休前に、短時間勤務の導入を進めているという話を聞き、ぜひ使いたいとアピールしていました。周りも制度を使うだろうという認識を持っていたと思います。
奥田：子どもが1歳を過ぎて再就職し、フルタイムで働きましたが、1年後に短時間勤務を使いたいと言いました。何度も話し合い、今の働き方ができています。会社で初めての取得で前例がないため勇気がいることでした。

周囲との業務の分担はどうなっていますか

奥田：営業なので、自分のできる時間内で対応していますが、16時から17時ごろに会議が多くあり、参加できないので、後で資料を見たり教えてもらったりしています。
今井：時期によって、他の担当者に手伝ってもらっています。休みそうなきには事前に業務の進捗状況を伝えるようにしています。
堀部：メールでまめにやりとりしています。会議前の1、2分や、昼食前に少しでも打ち合わせしています。
関根：時間内に仕事を仕上げて、

用語説明

- 短時間勤務**：所定労働時間を通常よりも短くする働き方。
- テレワーク**：ICT（情報通信技術）を活用した、場所や時間にとられない働き方。
- フレックスタイム制**：一定期間の定められた時間帯の中で、労働者自身が始業および終業の時刻を決定できる制度。
- SNS**：ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。人と人とのつながりを提供するインターネットサービス。
- サテライトオフィス**：勤務先以外の場所に設置されたオフィススペース。

幸せだからいい仕事ができる

クデイラアンド・アソシエイト株式会社 (複合サービス事業)
ジョイさん

技術文書の添削や企業内研修の講師をしています。原則週3回出勤して週2回は在宅勤務ですが、出勤回数は仕事の状況によって変わります。会社とはSNS ツールや電話で密に連絡を取り合っています。

プロジェクト単位で動かなければならず、また、締め切りが重なることがあるので、自身での時間管理が非常に大事です。自宅ではかどらないときは、散歩やカフェで気分転換をします。また、会社とのコミュニケーションも大切です。こちらのライフプランや仕事の意向を伝え、仕事の割り振りを行ってもらいます。

テレワークを始めた当初は、自分の始業時間を決めて机に向かわなければと思っていましたが、きちんと自己管理ができれば時間や場所に関係なく緊張感を持って仕事ができると分かりました。テレワークに変えて、より幸せになりました。会社や仕事に対する気持ちがアップし、仕事の効率や質も上がっています。



インタビューの様子

仕事は自分で見つける

株式会社ダンクソフト (情報通信業)
中 香織さん

総務や経理、社内のシステム開発などを行っています。第1子の育休から復職する際に保育園に入れず、育休を延長したいと伝えたところ、社長から在宅勤務を勧められました。第2子を出産した後も在宅勤務を続けています。

現在は週30時間勤務し、週1回出勤しています。作業内容は日報管理のシステムを用いて毎日の終業時に提出しています。会社とは主にSNS ツールでやりとりしていますが、サテライトオフィスも含めた全ての就業場所がカメラを通してオンラインでつながっており、呼び掛けるとすぐに反応があるため、在宅勤務ではあるものの、オフィスと変わらない環境とも言えます。

在宅勤務では、例えば顧客先に行くことが難しいなど仕事の幅が狭くなります。能動的に仕事をしなければ仕事がなくなってしまうため、自分で仕事を見つけていくようになりました。



テレビ会議の様子を見せていただきました

私がいけない間に見てもらえるようにしています。

仕事に対する意識は変わりましたか

今井..いかに効率よくできるかを常に念頭に置いています。4時間だとしても終わらないので、他の人にお願ひしていました。周りにはとても感謝しています。

堀部..短時間勤務の中で、自分の考えや経験を共有しなければいけないと思い、伝える場をつくるように心掛けています。

奥田..退社後の問い合わせに対応してもらったり、周りの協力がなくて働けないのだと感じました。短時間になっても、営業の目標は変わらないため、フルタイムの人と同じ成績が出せれば評価されるかなと思ひ、気合が入りました。効率を上げ、フルタイムの人と同じ目標が達成できると達成感もあります。

関根..働き続けられているのは周りのおかげだと、日々感じています。いつ保育園から呼び出されてもいいように、仕事をうまく組み立て、前倒しでやるようになりました。

今後の働き方を考えたときに、必要な制度はありますか

堀部..テレワークです。来年、子ども

もが小学生になり、短時間勤務が終わります。学童に7時までを迎えにはいけそうにありません。フレックスタイムや在宅勤務などをうまく組み合わせてきたらと思います。

関根..当社も短時間勤務は小学校入学までです。小学3年生ぐらいまで期間を延ばしてほしいという声が多いです。学童に行き生活環境が変わるのに、親はフルタイムに戻ると、子どもの負担も相当なものだと思ひます。また、夏休みはお弁当を作っています。フルタイムに戻るとさらに早く起きる必要があります。体がもたないなと思ひてしまいます。

今井..フルタイムだと周りは残業ありという考え方になると思ひ、フルタイムだけど残業なしだよというアピールも必要かなと思ひます。

堀部..小学生になったから急に何でもできるわけではないので、残業が難しいことを今のうちから伝えていきます。

奥田..当社は、3歳に達するまでのので、私はこの夏で短時間勤務が終わります。そうなるかと小1の壁をどう越えていこうかと不安です。子どもが小学生になっても、育児と仕事が両立できるように制度がうまくいくといいと思ひます。

第15回中央区ブーケ祭りを開催しました！

みんなで一緒に
わ〜くわ〜くブーケ

「職場で、地域で、家庭で働く女性たちへの応援歌」を合言葉に、男女共同参画週間（6月23日～29日）に合わせて開催される「中央区ブーケ祭り」。第15回を迎える今年は「みんなで一緒にわ〜くわ〜くブーケ」をテーマに、6月24日（金）、25日（土）に開催しました。

会場となった女性センター「ブーケ21」では、29の参加団体による展示やパフォーマンスが行われ、1,300人近い来場者でにぎわいました。また今年は、中央区ワーク・ライフ・バランス推進企業のうち4社が初めて参加するなど、ワーク・ライフ・バランスについて考える機会となりました。



展 示



オスビーの会 スウェーデンのオスビー市を訪れたときの様子を紹介しました



エコ・ビーイング パウムクーヘンで断層を再現し、地震を考えました



エガリテ さまざまな分野で活躍した女性たちを紹介しました



カラーの会・アヌビス カラーセラピーとハンドトリートメントを行いました



かな書道を親しむ会 かな書道の作品を展示しました



カトレアグループ フラワーアレンジメントの作品展示と体験を行いました



傾聴ボランティアグループうさぎの会 傾聴活動や交流会の様子を写真で紹介し、傾聴の体験も行いました



銀座育成婦人会 大正琴の演奏や講習会など1年間の活動内容を写真で紹介しました



京橋防火女性の会 防火防災の展示や応急救護訓練の指導を行いました

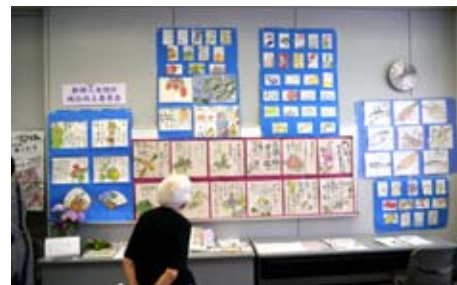
展 示



中央区社会福祉協議会 使用済みの切手やプライベートカードの収集活動を紹介しました



中央区環境保全ネットワーク ナノ粒子についてクイズやイラストで紹介しました



新婦人女性の地位向上委員会 絵手紙の作品展示や体験を行いました



中央区女性ネットワーク 「講演と映画のつどい」や「ひなまつりロビーコンサート」の様子を写真で紹介しました



中央区女性海外研修者の会 「台所から世界が見える」の展示や軽食のサービスを行いました



中央区消費者友の会 マイナンバーや電力自由化のほか、落花生料理も紹介しました



中央区福祉保健部管理課保健係 太陽がんについての展示や血管年齢を測定しました



中央区文化財サポーター協会 まち歩き活動の紹介やまち歩きマップを配布しました



中央区つつじ会 作品を展示したり、編み物の体験を行いました



日本橋モラロジー事務所 心の生涯学習の案内と月刊誌「ニューモラル」を配布しました



東京都下水道局桜橋第二ポンプ所 模型を使って下水の流れを紹介しました



東京建築士会女性委員会 住まいやリフォームの相談を受けました



翠会 お茶会を開き、お茶とお菓子を振る舞いました



FLAP はばたき 相続診断を行いました



人形教室みやび会 木目込み人形や挿絵を展示しました

ブーケ祭り
実行委員会企画

ブーケ祭り実行委員会企画では、春風亭鹿の子さんによる落語のほか、中央区ワーク・ライフ・バランス推進企業との交流イベント、親子体操、布ぞうりワークショップ、クイズラリーを行いました。また、友好都市東根市産のさくらんぼと被災地支援として南三陸わかめを頒布しました。

鹿の子流
笑顔でワーク・ライフ・バランス
～仕事も育児も人生も～



女性落語家で真打ちの春風亭鹿の子さんがおはやしに乗って登場です。「落語家は688 人いますが、女性の落語家は10 人とわずかであるで“絶滅危惧種”です」と紹介するやドツと笑いが起こり、会場はまさに寄席気分。鹿の子さんの小話に引き込まれ、思わず顔の筋肉がほぐれるともう幸福感でいっぱいです。

大きな声で笑えば、ナチュラルキラー細胞が活性化し健康長寿に。思い切り息を吸ってワッハッハーの笑顔。そして乙女のようになる変顔体操と、声を出す、口を動かすことが脳トレーニングに最適。最後は“褒めて、おだてて、イクメンつくる妻の知恵”と都々逸で締めればあっという間のワンステージでした。



春風亭鹿の子さん

事業協カスタッフ 村田進益

親子体操



小さなお子さんを連れのお母さんたちと、大きなぬいぐるみを赤ちゃんの代わりに膝に乗せた参加者が、椅子に座って円座を組んで体操をしました。子育てサークル「どんぐり」の皆さんが歌でリードして下さり、歌に合わせて手遊びや体操をします。どこかで聞いたことのある、懐かしいメロディーです。お子さんたちの愛らしさもあり、皆さんが和やかにになり、笑い声がこぼれ、小さなお子さんから年配の方まで、みんなで交流できる楽しいイベントになりました。

事業協カスタッフ 橋谷信代



布ぞうりワークショップ



カラフルな布ぞうりを編むワークショップを体験しました。材料は不要になった浴衣やTシャツなどを細長く裂いてリサイクルします。編み始めはもたもたしていましたが、少しずつぞうりの形になってくると熱が入ってきます。指導者の方も、参加者が増え、てんてこ舞い。ぞうりは、2つで1足ですから根気がいらいます。でも出来上がったならこの時期、室内履きにしてもよい、とても便利なグッズです。なんとか完成までこぎ着けました。皆さんが達成感を持って帰られました。



事業協カスタッフ 橋谷信代

わ〜くわくインフォメーション

プレブーケ祭りから第14 回までの歴史をチラシや写真で紹介し、歴代の実行委員会会長たちが当時は振り返りながらコメントを寄せました。



友好都市
東根市産さくらんぼ・
南三陸わかめの頒布





中央区立女性センター
中央区ワーク・ライフ・バランス推進企業(全22社)を紹介しました

中央区立女性センター、
中央区ワーク・ライフ・
バランス推進企業の展示

中央区ワーク・ライフ・バランス推進 企業との交流イベント

中央区では、仕事と子育て・介護との両立支援や長時間労働削減など働きやすい職場の実現に向け取り組んでいる事業所を中央区ワーク・ライフ・バランス推進企業として認定しています。

今回、中央区ワーク・ライフ・バランス推進企業4社がブーケ祭りに参加し、企業紹介の展示を行いました。2日目には交流イベントも開催しました。



交流イベント取材して

中央区ワーク・ライフ・バランス推進企業のうち4社から、実際に働かれている方にお越しいただき、交流イベントとしてパネルディスカッションが開催されました。

産休取得後の継続就労、テレワーク(在宅勤務など)、パソコンを使ったテレビ会議、短時間勤務など、一人一人のライフステージに合わせた取り組みをお聞きでき、とても印象的でした。

事業協カスタッフ 村田進益



株式会社クエスト・コンピュータ
平成24年度認定/情報通信業



株式会社ダンクソフト
平成21年度認定/情報通信業



クテイラアンド・アソシエイト株式会社
平成26年度認定/複合サービス事業



株式会社サンプラント
平成25年度認定/建設業



交流イベントでは、4社の取り組みの内容や背景などをお話しいただきました。

パフォーマンス



新婦人コーラスエーデルワイスの会 楽しいコーラスを披露しました。参加者と一緒に「ふるさと」などを歌いました



音和会
参加者と一緒に合唱したり盆踊りを踊りました



アマービレ
日本歌曲やイタリア歌曲を披露しました



朗読ボランティアグループわかはや会 「おばあちゃんのきおく」、「コーリング・ユー」を朗読しました



朗読の会
「川とノリオ」を群読しました



レイ・ロケラニ
「ブアマナ」などフラダンスを5曲踊りました

水曜イブニングトーク
平成28年度のテーマ 「京橋・築地界隈で働く女性たち」

報告 第1回
築地で働く元気な5代目
「すべりにくい長靴を守る」

7月6日(水)、築地市場内の長靴専門店「伊藤ウロ」専務取締役の伊藤嘉奈子さんをお迎えし、今年度1回目の水曜イブニングトークを開催しました。

伊藤さんは、出版業界で働いていましたが、平成12年に家業である長靴専門店に就職しました。よりすべりにくい長靴を作りたいという先代の意思を継ぎ、時には魚屋に「どういう長靴が良いか」を尋ねるなど、研究を重ねながら日々、長靴作りに携わってきたということでした。

市場関係者が使う長靴は片方900gもあり、その長靴を複数届ける際には、男性だと1回で運べても、女性だと何往復かすることになり、体力的なハンデを感じることもめずらしくです。

また、「魚がし横丁」の広報企画室に在籍しており、家業で働く以前に培ったスキルを生かし、チラシ作成や取材対応なども行っているとのことでした。

最後に、「昔は跡取りという男性が一般的でしたが、環境の変化に対応できるのは女性の強みだと思えます。これから女性性の強



伊藤嘉奈子さん

みを生かして頑張っていくたい」との言葉で締めくくられました。

報告 第2回
女流初代そば打ち師
「父の背中と江戸の味」

8月3日(水)、築地蕎麦の鶴飼千代さんに、女流初代そば打ち師であり妻であり母であるご苦労や喜びなどについて伺いました。

家業を継ぎそば打ちを始めたが、女性の仲間がいないのはちょっと寂しいとのこと。重労働のそば打ちも体重をうまく利用して行い、終わったときは気分爽快だそうです。

早朝からお店ですばを打ち始め、夕方家に帰ってからは家族の食事と一日中調理している生活ですが、食べるのも作るのも大好きなので苦にならないと明るく話されていました。

おそばはお昼ごはんというイメージですが、築地蕎麦では刺身のみまみセツトにし昼酒と一緒に楽しんだり、いろいろなおそばの食べ方を提案されています。今はコンビニで売られているほど、おそばは手軽に食べられます。でも、そんな時代だからこそ、子どもたちには本物を食べさせたい。また、伝統を守るだけでなく、新しい物も取り入れてより良い物を作っていくたい」と熱く語られていました。



鶴飼千代さん

事業協力スタッフ
脇坂文栄

報告
中央区・東京商工会議所中央支部主催
ワーク・ライフ・バランスセミナー
企業の成長に女性社員を活かす！
職場環境と人事制度のつくり方

7月14日(水)、ビジネスコーポレート株式会社常務取締役の吉田寿さんを講師にお迎えし、女性の活躍推進に向けた職場環境や人事制度のつくり方を学びました。

女性の活躍を促すためには、年代や働き方などの多様性を受け入れることが必要とのこと。女性は、安心して子どもを産むことができ、仕事と育児を両立させながらキャリアアップもできる企業、仕事を通じて成長している実感が持てる企業を求めているとのことでした。

また、人事制度では、男女どちらかを優遇する必要はありません。勤務時間の長さや働き方で評価せずに、時間あたりの生産性で評価し、育児休業や短時間勤務を理由に評価を下げないことが望ましいとのことでした。

取り組みを推進するには、組織トップのリーダーシップが大事であり、トップが問題意識を持ち、会社全体で意欲的に取り組む必要があるとのことでした。



吉田 寿さん



募集
中央区ワーク・ライフ・バランス
推進企業の募集について

仕事と子育て・介護との両立支援や長時間労働削減など働きやすい職場の実現に向け取り組んでいる事業所を中央区ワーク・ライフ・バランス推進企業として認定しています。

対象 区内に事務所を置き、常時雇用する従業員数が300人以上の企業、一般社団法人、一般財団法人など

締切 12月20日(火) (必着)
認定式 平成29年4月

※応募方法は左ページ下の申込・連絡先へお問い合わせください。

報告 「中央区男女共同参画推進委員会委員」が決まりました

平成28年6月から2年間の任期で、17人の方々が中央区男女共同参画推進委員会の委員に就任されました。

委員会は、学識経験者、女性団体の推薦する者、各種団体の推薦する者および有識者、公募区民、行政職員で構成されています。任期中、区の男女共同参画推進施策についてご意見をいただきます。

◎袖井 孝子 (お茶の水女子大学名誉教授)
◎竹信二恵子 (和光大学教授)

細谷 実 (関東学院大学教授)

綱島 昭枝 (中央区婦人学級連絡会)

廣野みゆき (中央母の会)

河本 佳子 (中央区女性海外研修者の会副会長)

報告 ほっと一息私の時間 お家でお子さんと楽しめる本物みたいに かわいくマカロンせっけん作り

奇数月の第3水曜日の午前中に開催する、「ほっと一息私の時間」。7月は、「せつけん教室*Hua」を主宰されている三浦節子さんをリーダーにお迎えし、マカロンせっけん作りを行いました。最初に見本のマカロンせっけんを見せていただきました。色も香りもさまざま、思わず手に取って食べてしまいました。皆さんから二斉に「可愛い」の声が上がりました。

いよいよ作品作りです。まずは、グループに分かれてマカロンの皮にあたる生地から作ります。自分の好きな色や香りを選んでこねていきます。つぶしたり、伸ばしたり、丸めたり、皆さん、無心で作業し生地の出来不出来について隣の人と話しながら完成させていました。次は、皮の間にクリームを絞り出します。まさにお菓子作りのような楽しさです。最後は、一人2個ずつ作ったマカロンせっけんを箱に入れて終了しました。

参加者の皆さんから「無心になれてすっとしました」「こんな機会をもっと利用したい」との声がたくさん聞かれました。事業協力スタッフ 橋谷信代



三浦節子さん



平成28年10月・11月の講座ご案内

※応募方法は左下の申込方法、申込・連絡先を参照の上、お問い合わせください。

講座名	日時	講師	内容	対象など	区のお知らせ掲載号
女性のための再就労支援講座 「キャリア講座」 秋コース 託児	① 10月6日(木) ② 10月20日(木) ③ 11月11日(木) A 午前9時30分から10時55分 B 午前11時5分から12時30分	栗原知女さん (キャリア・コンサルタント)	① A できる女のロジカルシンキング B 適職を見つけてチャレンジしよう ② A 仕事の「段取り力」が決め手です B 頼れる情報源・女性しごと応援テラス ③ A 信頼を勝ち取るコーチング力 B 「受かる履歴書」の書き方を学ぶ * A、B どちらか一方の参加も可能です。 * 希望する講座のみの受講もできますので是非ご参加ください。	結婚、出産・育児、介護などのため退職した方など、就職を希望する女性 〈キャリア講座〉 各回50人(先着順)・無料 〈キャリア相談〉 先着順・無料	8月1日号
「キャリア相談」 託児	一人一人の状況に応じた個別のカウンセリングを行います。 日時など詳細はお問い合わせください。				
男女共同参画セミナー 「～ライフイベントで考える～働く女性のライフプランとメンタルヘルス対策」 主催：中央区 東京都労働相談情報センター	10月21日(金) 午後6時30分から8時30分 10月25日(火) 午後6時30分から8時30分	佐藤道子さん (社会保険労務士) 矢島新子さん (医学博士・産業医・労働衛生コンサルタント)	「働く女性のライフプラン」 ・働く女性の現状とライフイベントの影響 ・ライフイベントと仕事の両立法 ・ライフプランに沿ったキャリア形成について 「働く女性のメンタルヘルス対策」 ・働く女性とストレス要因 ・ライフイベントと女性特有のメンタルリスク ・ストレス対処法	勤労者・その他テーマに関心のある方・各回80人(先着順)・無料	9月11日号
男女共同参画講座 「会議が変わる！ミーティングカアップ講座」	11月16日(水) 11月30日(水) 午後6時30分から8時30分(全2回)	杉村郁雄さん (特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会)	2回の講座を通してファシリテーションのスキルを講義とグループワークの形式で学んでいきます。	女性の方(区内在住・在勤・在学優先)・無料	10月21日号

*会場は男女共同参画セミナーは中央区役所、その他は女性センター「ブーケ21」です。
*募集は広報紙「区のおしらせ中央」発行後です。詳しくは広報紙「区のおしらせ中央」をご覧ください。

託児 は定員あり

申込方法

電話またはファクスで受け付けます。(電子申請も可)

- ① 講座名など
- ② 氏名・ふりがな
- ③ 〒・住所
- ④ 電話番号
- ⑤ 年齢

●電子申請の場合は、区のホームページからお申し込みください。

申込・連絡先

女性センター「ブーケ21」
TEL 5543-0651
FAX 5543-0652
http://www.city.chuo.lg.jp/

パネル展示日程

女性センター「ブーケ21」	11月12日(土)から12月26日(月)
月島区民センター	11月12日(土)から18日(金)
区役所1階	11月19日(土)から28日(月)
日本橋区民センター	11月30日(水)から12月6日(火)

毎年、11月12日から25日までは「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。区では、女性に対する暴力の防止を呼び掛けるパネル展を実施します。

お知らせ 女性に対する暴力をなくす運動 パネル展

- 三田富貴子(中央区女性ネットワーク会長)
 - 渡部 志乃(中央区青少年委員会)
 - 松崎 義子(月島地域民生・児童委員協議会 副会長)
 - 篠原 良子(中央区社会福祉協議会 ボランティア)
 - 石井 良行(連合中央地区協議会事務局長)
 - 遠藤 彬(東京商工会議所中央支部)
 - 杉本紀美代(公募区民)
 - 山本 愛(公募区民)
 - 上竹 陽子(月島第一幼稚園園長)
 - 林 奈津子(東京都労働相談情報センター所長)
 - 田中 武(中央区総務部長)
- ◎会長 ○副会長 敬称略

講演と
映画の
つどい

テーマ 「家族」ってなんだろう？ ～`今、に見るそれぞれの姿～

講演 「日本家族はどこにいく」

講師 山田昌弘さん（中央大学文学部教授）

映画 『ぼくたちの家族』 監督 石井裕也



講師の山田昌弘さん



会場の様子

7月9日(土)、中央区女性ネットワークと中央区の共催により日本橋社会教育会館ホールにて「講演と映画のつどい」を開催しました。11回目を迎えた今回のテーマは「家族」です。

講演では、「パラサイト・シングル」や「婚活」という言葉の生みの親で、家族社会学を専攻されている中央大学教授の山田昌弘氏を講師にお招きし、日本の家族の姿や現代が直面している問題、また多様化が進む家族の将来像についてなど、幅広くお話を伺いました。

映画『ぼくたちの家族』は、母親の病気をきっかけにさまざまな問題に直面した家族が、再び一つになっていく姿を描いた作品で、自分の家族を振り返り誰もが共感できる内容だと思いました。母親のためにひたすら病院を探し回る2人の息子の姿にはいとおしささえ感じ、心揺り動かされるものがありました。

例年に比べ、男性や若い方の参加が多く見られた今回の「講演と映画のつどい」、家族についてじっくり考えるきっかけになれば幸いです。

中央区女性ネットワーク 会長 三田富貴子

館長雑記

私たちの 「ワーク・ライフ・バランス」

▶ 15回目になるブーケ祭りが大盛況のうちに終わりました。実行委員の皆さま、参加団体の皆さま、本当にお疲れさまでした。▶ それぞれの企画が、全体テーマのもとにまとめ、ワーク・ライフ・バランス」について、中央区の現状をスケッチしていたことがとても印象的でした。▶ 都内有数の事業所数を持つ中央区にとって、「ワーク・ライフ・バランス」の実現は男女共同参画の推進に欠くべからざる大事な課題の一つです。推進企業のお話を伺ってみると、「ワーク・ライフ・バランス」の推進は、単に「残業をなくす」ということに終わらず、働き方の工夫から、いかに豊かな時間を生み出して、それぞれの実り多い生活を実現するかという段階に踏み込むようになってきたことが分かります。▶ 参加団体の方々の生き生きした展示やパフォーマンスも、ある意味では、その具体的な表れでもあるように思えてなりませんでした。（松川淳子）

「ブーケ21」女性相談をご利用ください

配偶者や恋人からの暴力(DV)をはじめ、仕事や家庭、生き方など、女性のさまざまな悩み専門相談員がお応えします。ひとりで悩まず、お気軽にご相談ください。

相談・予約電話番号 03-5543-0653（相談無料、秘密厳守）

電話相談（予約不要） 毎週月曜日 10:00～16:00（ただし祝日、年末年始を除く）

面談相談（予約制） 毎月第1・5水曜日 第4火曜日 10:00～16:00
毎月第2火曜日 第3水曜日 15:30～20:30
（ただし祝日、年末年始を除く）* 託児付（要予約）
上記以外の時間でも、女性センター開館時は予約を受け付けます。

女性センター「ブーケ21」へ来てみませんか？

「ブーケ21」は男女共同参画を推進し、一人一人が自分らしく生きることができる地域社会をめざす拠点施設です。女性、男性どなたでもお気軽にお越しください。

〒104-0043 東京都中央区湊一丁目1番1号
電話番号 03-5543-0651

ホームページ <http://bouquet21.genki365.net/>

◆開館時間 午前9時～午後9時（12月28日から1月4日までと臨時休館日を除く）

- 東京メトロ日比谷線・JR京葉線 八丁堀駅下車 A2・B3出口徒歩3分
- 都バス「東15」（深川車庫前⇄東京駅八重洲口/豊洲駅前・明石町経由） 鉄砲洲下車 徒歩3分
- 江戸バス「南循環」鉄砲洲下車 徒歩3分 入船三丁目下車 徒歩3分 「北循環」八丁堀駅下車 徒歩3分

